



### 地域の文化を楽しむ

―第44回和田地区芸術文化祭―

11月6日(日)、第44回和田地区芸術文化祭が開催されました。

和田公民館大会議室では、13の団体が、歌や楽器演奏、詩吟、読みがたりなどで日頃の活動の成果を発表し、会場に入りきれないほどの大勢の観客を楽しませました。

和田公民館2階と和田地区福祉ひろばでは、絵画、書道、生花などの作品が展示されました。個性あふれる絵手紙や、繊細で可愛らしい手芸品などが並び、来場者は、趣向をこらした作品に感心しながら見入っていました。

和田歌碑公園では、平成6年から続いている恒例の野点が行われました。この野点では、10月に開催された「茶道体験講座」の受講生が、来場者をもてなしました。母親と一緒に講座を受講し、野点でお菓子を出す役割を担当した和田町のかんざわよしえさん(小3)は、「お菓子をいろいろ

和田の世帯数・人口	
世帯数	1,438戸
人口	4,178人
男	2,027人
女	2,151人
(平成 28.11.1 現在)	

曇り空の寒い一日でしたが、大勢の人で賑わう、楽しい文化祭となりました。

境 宮島



**私たちが接待しました**



お菓子をどうぞ

## 野点

---

♪ 心に響いた歌声(ステージ発表) ♪



ひろばコール・ワダ



大地讃頌をうたう会



波田少年少女合唱団



やすらぎの会

和田公民館報

### 展示発表



楽しかったこと (和田保育園)



トイレトペーパーの芯を使った壁飾り (和田児童センター)



のどかな田園ひまわり畑 (ゆめの里和田)



生花・盆栽



革細工 スクラップブックング  
ネックウォーマーにもなる帽子



書・写真・短歌

### がんばったウォークラリー

ほくは友達とウォークラリーに行きました。クイズなどがいろいろあって楽しかったです。

最初は、学校まで行ったり、西原を一周したりして、3時間ぐらい歩くと聞いてすぐビックリしました。けれども、友達としゃべりながらどんどん進むことができました。友達のお母さんと妹は、ハアハアでしたが、そのおかげで、1時間半くらいで着き、結果も2位と好成績でした。

ウォークラリーのあとのご飯も、おなかですごくすいていたのでとてもおいしかったです。

### ウォークラリーに参加して

和田地区の住人となり5年ほど経ちましたが、地域の事はほとんど知らず、良い機会と思いウォークラリーに参加させていただきました。

実際に歩いてみると本当に知らない事ばかりで、側にいた子供達に教えてもらいう事も多く、目にする光景全てが新鮮でした。普段は大きな道を車で通り過ぎるだけなので、たまにはのんびりと歩くのも良いなど改めて感じました。

ウォーキングに最適な秋晴れの中、心身ともにリフレッシュでき、有意義な時間が持て感謝です。

都合のつく方は、参加の価値「大」だと思いますので、来年は一緒にしませんか？

西原 村田



次を目指して足取り軽く



貴重な文化財を拝観

ウォークラリー楽しかったです。

殿 小6 上原 梁代

### ボランティア和田 20周年を迎えて

皆さんは、ボランティア和田が最初の募集から今年で20年になるという事を知っていますか。平成8年8月に、29名で初会合が開かれ、規約等を決めたとの事です。現在は、75名が入会して活動をしています。

そこで、20年間続けている方を中心に、アンケートでお話を聞いてみる事にしました。

#### Q 入会のきっかけ

- 和田で双子の赤ちゃんが生まれた家庭に頼まれ、仲間と生活面での手伝いに行き、和田でもボランティアが必要だと感じた。
- 社協の方々のお骨折りで設立された頃、自分にも少し自由な時間ができたから。
- 福祉関係の施設に勤務していた事から。
- 和田生まれなので、何かしたいと思っていました。
- 子供の通う施設もボランティアに支えられていて必要性を感じていたので、募集をきっかけに参加。
- 地域の方からの誘いがあり、ひとりでは無理でも皆と一緒に何か手伝いができると思った。

#### Q 大変だったり困ったりした事

発足当初は事業費も少なく、ベッドメイキング等の講習会は、会員に講師をお願いする事もあった。講演会を開催しても参加者が少なかった。

- 色々な事に一生懸命取り組んでも認めてもらえなかった。苦しみ、悲しみ、喜びもある中で、どうすれば活動がうまくいくか困る。
- 家庭と農家の仕事があり、出るのが大変な時期があった。
- 個人的に援助を必要としている人の手助けが組織的にできればいい問題が多い。

#### Q 良かった事

- 喜ばれたり感謝されたりして、自分が人のためになっていると思えた。
- 年齢に関係なく志を持った方々との出会いがあり、交流できて学べるのが楽しい。
- 送迎・配食ボランティアを通じて地域の人との会話ができた。
- 活動を通して学ぶ事が多い。自分がボランティアに助けられる事も多いので、少しでも関わる事で恩返しできる。
- ジブリ美術館から大麦のストローを頼まれ、作って送り、お礼にと皆で招待された事。

#### Q なぜ長期間続けられたか

仲間同士で助け合いの気持ちが生まれ心が通じる。福祉ひろばという拠点があり、公民館、町会関係の方々の協力とひろばの職員の方の温かな支えのおかげ。職員の方に助けられ、会員は、日々色々な活動や学習ができた。

- 年間の活動内容が決まっている事と、会員同士の励まし合い助け合いがある。
- 農作業があり、冬の間しか協力できないが、自分のできる事をと、自身に言い聞かせ、無理せずやってきた。
- 送迎、配食の利用者が、笑顔で待っていてくれる。

#### Q ボランティア和田のこれからについて

これからの若い方の力で、決して無理せず、できるときにはやらせていただくという気持ちで継続していく



孫の世話をするように (お子守ボランティア)

事が大切だと思ふ。

60代以下の人の参加が少ないので、少しでも興味のある方にはお願いしたい。

- 高齢で辞める人が増えていくが、新しく入る人がいないので、若い人にも参加してもらいもつと輪が広がれば良いと思う。
- この和田で安心して生活でき、安心して老いていける地域づくりのお手伝いができるよう頑張っていきたい。

アンケートは以上です。ご協力いただいた皆さん、本当にありがとうございます。

今のボランティアの仕事は、ふれあい健康教室、おしゃべりサロン、配食ボランティア、運転ボランティア、めだかの会のお子守、文化祭のおにぎり作り、ゆめの里のデイサービスとゆめ祭りの手伝い、ピア山形の洗濯物整理などです。

皆さんの中にボランティアに対して少しでも興味のある方は、福祉ひろばまたは公民館の方へ声をかけてみてはいかがでしょうか。

活動は平成8年から始まりましたが、平成9年4月1日より会則が施行され、来年は20年目を迎えます。

中 奥原

### ★お知らせ★

○松本市市民体育大会

(10月9日)の結果

- ・卓球 3位
- ・ソフトバレーボール 40歳以上の部 優勝
- ・39歳以下の部 3位
- ・マレットゴルフ
- 男子 19位 女子 7位

○松本市長杯争奪球技大会 (11月6日・13日)の結果

- ・卓球 3位
- ・マレットゴルフ 9位
- ・ソフトバレーボール 予選 3位
- ・ママさんバレーボール 一回戦
- ・軟式野球・ゲートボール 出場せず

### 編集後記

暑い夏が過ぎ、かけ足で秋が終わろうとしています。雪の便りも聞かれはじめ、我が家では薪ストーブを焚きはじめました。

今秋は天候が不順で、運動会が中止になってしまいました。野菜の高値も続いています。これからますます寒くなります。皆様お身体ご自愛ください。

奥原・宮島・田中